

住民説明会で出された意見等の概要一覧

- 1 会場 富有まんてんホール
 2 日時 令和7年5月28日
 3 出席者 35人
 4 発言者 9人

No.	分類1	分類2	発言者	発言要旨	回答要旨
1	事業費	質問	A	・他の保育園と比べて、建設費（約12.6億円）が非常に高い。財政が厳しい中でこれほど高額な施設にする必要があるのか。	・湯梨浜町のたじり保育園では約11.4億円の建設費がかかっており、本町の新保育園との差は大きくありません。特に本町は、駐車場や敷地の造成が必要な点、物価や人件費の高騰といった社会的要因も影響しており、費用がかさんでいるのはやむを得ないと考えています。贅沢な設計というよりも、近年の物価・人件費の高騰が主な理由です。
2	事業費	意見	B	・突然18億円という建設費が示された。工事発注後に住民説明会を行う姿勢は不適切であり、住民への事前説明と合意形成が欠けている。南部町の予算規模（年間約80億円）や税収（約10.5億円）に対して、18億円の単年度投資は過大で財政への影響が大きい。将来の人口減を踏まえると、このような大規模施設が本当に必要なのか再考すべきだ。	・起債（ローン）には当然ながら町の財政負担が伴いますが、町では財政全体のバランスを見極めながら予算を編成し、住民サービスに支障が出ないよう適切に管理しています。年間およそ79億円規模の予算の中で、今回の約20億円にのぼる起債についても返済可能と見込んでおり、その見通しは資料中の棒グラフなどを通じて説明しています。
3	事業費	質問	B	・民設民営の建設について変えた説明内容が不十分だ。国の補助金は120人規模の保育園で約2億円ほどだが、今回の建設費は18億円と非常に高額だ。	・法人負担というものが大変大きいということを改めて考えて協議した結果です。公立で建てて、私立園を設立して運用するという方針方向でも、この公私連携型の保育所になるという見解をいただいたというところがやはり一番大きなことです。
4	事業費	質問	C	・特殊な楕円形の設計は建設費や将来の修繕コストを押し上げる要因となっており、なぜもっと簡素で効率的な構造が検討されなかったのか疑問だ。	・施設の形状にはこだわらず、子どもたちが豊かな里山の自然の中でのびのびと遊び、育つことができる環境づくりを大切にしています。特に南側の丘陵地の自然を生かした遊び場は大きな魅力であり、今後も大切にしていきたいと考えています。また、職員用やイベント用の駐車場は、面積やコストの面で課題はありますが、災害時の地域の避難施設としての役割も期待されているため、安全な駐車スペースを設けることは不可欠です。ご理解いただきますようお願いいたします。
5	事業費	質問	E	・用地取得費が高額ではないか。	・公共施設用地の場合は、所有者との交渉ではなく、鑑定士に依頼して土地の価値を専門的に査定しています。近隣の土地価格などを基に1平方メートルあたりの適正な価格を算出し、田んぼや畑などの種類によって単価が決まっています。このルールに従って価格を決定していることを、ご理解いただきたいと思います。
6	事業費	質問	E	・今回の大規模建設について、建設の基本計画があってしかるものであり、基本的なプロジェクトマネジメントが見えてこない。	・今回の計画は、平成26年に建設された「すみれ保育園」の7億円を基準に議論が進められてきました。単価の上昇は当初から予想されていましたが、最終的に建築費は約12億円、その他を含めて18億円になる見込みです。近隣の施設から見ても大きく乖離した額ではありませんが、住民への説明が十分でない点は感じています。
7	事業費	質問	E	・町長は「7億円では建設できない」と認識されていたにもかかわらず、虚偽の金額を提示したということにはならないのか。	・議論では事実を基に、すみれ保育園の実績を参考にしていました。当時から会議の中では金額が変動することは承知されていましたが、住民の皆さんにはその経過が分かりづらかったと思います。7億円とされた金額が最終的に18億円になったことについてはお詫びし、適正な金額であることを住民の皆さんに説明する責任があると思っています。
8	事業費	質問	G	・湯梨浜町に比べて高い。町の規模に見合った、もっと安価な計画にできないのか。	・現在のコンセプトに基づき、建物の面積はすでに決まっております。それに対する建築費を算出する際、坪あたり単価で比較したところ、たじり子ども園、渡り保育園ともに大きな差額はほとんどありません。このことから、提示されている金額は適正であると精査しております。
9	事業費	意見	H	・皆が納得できる保育園に子どもを通わせたいという気持ちが一番だ。運営者については、公募にするか、協定に外部の関係者を入れて透明性を高める方法が望ましい。費用面で反対されている方々は、以前より物価が上がっている中で、「7億では足りない中、今の時代で納得できる金額はいくらなのか」を知りたい。土地の形状や設備など個別の工事項目ごとに費用を積み上げ、今の情勢で適正な規模の保育園を建てる場合の総額を示すことはできないか。	・建設費については、基本的に県の単価を基準としています。県単価にない項目は市場価格を参考にし、それでも判断できないものは見積もりを取って算出しています。同じ内容の建物であれば、鳥取県西部のどこで建ててもほぼ同じ金額になります。土地購入費は別ですが、建物自体の費用はコンセプトの違いだけが影響します。この点をご理解いただければと思います。
10	財政	質問	B	・人口減少で交付税が減るため、将来的には財政規模が縮小し、住民負担や公共サービスの負担増が懸念される。単に「返せる」だけでなく、こうしたリスクも説明してほしい。	・約8億円の負担は確かにあります。今後は住民サービスの低下や負担増を避けるため、行財政の見直しを進めます。公共施設の必要性や活用方法も皆さんと議論しながら検討していきます。ローン返済による影響も考慮し、慎重に進めていく所存です。
11	財政	質問	C	・保育園建設は、その維持・補修費も将来は町が負担することになり、結果的に町民全体に大きな財政負担が生じることが懸念される。住民サービスにしろ寄せがくることも不安である。	・行政としては、住民の皆さまに安定したサービスを提供するため、税金や国からの交付税を活用しながら、医療や福祉など他の重要な分野に支障をきたさないように配慮します。こうした点については安心していただければと思います。将来のことは確実に約束できるわけではありませんが、現在の税収や予算の状況から、引き続き安定した運営ができると考えています。

12	財政	質問	D	・起債の返済の交付金は保育園建設のための専用交付金か。それとも人口に応じた一般の地方交付税からの支出か。	・保育園建設のために借りたお金のうち、約50～70%は地方交付税の基準財政需要額に含まれ、国からの支援を受けて返済の負担を軽減しています。この仕組みで起債の返済はおおむね6割程度が交付税でカバーされます。
13	財政	質問	F	・なぜ伯耆の国に決まったのか、公募もなく特定の法人に決めた経緯に疑問がある。これまで保育を担ってきた法人や保育士さんの継続も、しっかり考慮すべきだ。M&Aのように会社が変わっても、保育士さんが変わらなければ保護者や子どもにとっては問題ないと思う。将来若い世代への税負担が増えるのではないかと不安もある。町としては「負担は増えない」と明言していただきたい。	・令和6年度の借金残高は約6億4千万円で、平成23年度の約11億8千万円から大きく減少しています。今後もこの水準を維持し、借金が急増することはありません。したがって、今回の保育園建設によって税金が上がるような事態にはならないとお約束できます。
14	運営	意見	B	・民設民営（法人が建設・運営）から「町が建てて、民間に無償貸与する方式」に変更された。18億円の公共施設を無償で貸し出す根拠や理由について、明確な説明が必要である。	・当初法人による「民設民営」を想定していましたが、建設費の負担が大きいため、国と協議した結果、公が施設を整備し、民間が運営を行う形でも児童福祉法に基づく公私連携型保育所として認められるとの見解を得ました。現在はこの児童福祉法第56条の8を根拠に事業を進めています。
15	運営	意見	B	・南部町では特定の法人に対して直接決めているのが問題である。通常は公平な公募が基本だ。実績がある」と言っても、競争原理が働いていない状況が問題だ。	・確かに多くの自治体では公募を行って公私連携協定を結んでいます。全国的に見ると、すでに指定管理を行っている実績のある自治体では、実績を踏まえて指名で連携協定を結ぶケースもあります。つまり、すべてが公募というわけではありません。
16	運営	質問	D	・なぜ指定管理者の「伯耆の国」に限定し、公募により選定しないのか疑問である。	・以前は町立で多くが臨時職員であったことで将来の処遇や待遇の課題がありました。安定した運営と職員の処遇改善を目的に、「伯耆の国」に指定管理を依頼し、10年以上運営してもらっています。急な運営変更によって保育士が変わること子どもたちや保護者の皆さまに不安が生じることを避けたいと考えています。町民の皆様にも信頼をいただいている保育園運営状況です。子どもたちや働く職員にとってベストチョイスであると考えています。最終的には議会の承認をいただき正式決定する予定です。
17	運営	質問	D	・協定書には、町が保育園の運営状況を確認・監督できる仕組みが含まれているか。	・協定書には町の関与を明確に規定しています。具体的には、運営者・保護者・町の3者による定期的な協議会を設け、また外部の専門機関による第三者評価も実施する予定です。これにより、町が適切に運営状況を把握・確認できる体制を整えます。
18	運営	質問	E	・公私連携協定を結ぶ内容や決定プロセスについて、どのような流れで進める予定か教えてほしい。	・公私連携協定では、保育園運営に関する内容を定めます。具体的には、保育所の名称や運営体制、保育に関する事項など、国の法律で定められた項目に沿って協議を進めています。また、施設の維持管理や保育サービスの内容、危機管理の考え方なども含まれます。現在、伯耆の国と内容について協議を継続しており、最終的には令和8年3月に協定書をまとめ、議会へ上程する予定です。
19	運営	質問	E	・協定は地域住民や関係者が意見を出せる仕組みは設けられていない、という理解でよいか。	・現在、公私連携協定に関するパブリックコメントは検討しておりません。
20	方針	質問	A	・現時点で存続しているひまわり保育園を今後どうするつもりなのか。	・ひまわり保育園の後は現時点で決まっておらず、今後の対応については、「子ども・子育て会議」などの議論を経て、町民の意見を踏まえながら慎重に検討していく方針です。
21	方針	質問	A	・統合保育所ではベアーズの保育士が0歳児保育をするのか。	・統合保育所では、伯耆の国の保育士が対応します。
22	方針	質問	E	・ベアーズの今後の方針を教えてください。ベアーズをやめる予定とのことだが、尚徳福祉会から不満や懸念の声が出るのではないかと危惧する。	・ベアーズは一時的に特別にお願いしている施設で、現在は小規模保育園として0～2歳児を預かっています。新しい保育園の運営体制が整い次第、ベアーズとの契約は終了します。現在ベアーズは小規模保育として期間限定で運営をお願いしており、0歳児の受け入れが困難な状況を補うために始まったものです。現在は令和8年度までの契約となっています。新しい保育園の運営体制や状況を踏まえ、令和8年度以降は継続しない前提で、尚徳福祉会とはあらかじめ確認・合意が取れています。
23	その他	質問	E	・農業振興地域の用地除外手続きについてなぜ期間が長かったのか。行政内部での手続き不備や業務の遅れがあるのではないか。	・昨年中の手続き完了を予定していましたが、町民から手続きの不備を指摘されたことや、町民からの審査請求や不服申し立てがあり、手続きが今年の3月上旬まで延びました。農業委員会への申請後、補正指示があれば、我々はその内容を確認し、必要な補正対応を行います。例えば造成時の排水問題などについて、こちらの考えを説明し、農業委員会から了承を得るという手順です。したがって、初めから我々に不備があったとは考えておりません。
24		要望		<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理も指名が進められているのは公平性に疑問がある。保育士の意見も十分に反映されていないようだ。工事は町内業者は請け負わず外部に流れる可能性が高いのに、運営は特定の団体に決めるのは納得できない。これからの協定内容や施設建設について、より透明で公平な手続きをしっかりと進めてほしい。 ・保育士の待遇改善、第三者委員会による監督体制、財政に関する第三者委員会などを作ることを提言したい。 ・借金返済は交付金などでかなり補填されるため、説明を聞いている限り住民負担が大きく増えるとは思えない。反対ばかりの意見ではなく建設や運営に関してはもっと前向きな意見交換をしてほしい。伯耆の国に運営をまかせたいという方針は今働いている保育士への配慮と説明されているのに「なぜ伯耆の国なのか」と同じ質問を繰り返されているのが残念だ。私自身も孫が通う予定で皆で協力して安心して楽しい保育園をつくっていかれたらと思う。 	

住民説明会で出された意見等の概要一覧

- 1 会場 キナルなんぶ
 2 日時 令和7年6月2日
 3 出席者 35人
 4 発言者 7人

No.	分類1	分類2	発言者	発言要旨	回答要旨
1	事業費	質問	A	・つくし保育園とさくら保育園で60人定員で改修した場合とのコスト比較はされたのか。	・コスト比較はしていません。理由としては、つくし保育園はハザードマップ上で浸水リスクが高く建替は困難で、さくら保育園も敷地が狭く、両園ともに同じ場所での改修は困難と判断しました。
2	事業費	質問	A	・人口は25年後に約3分の2に減少する見込みで、財政規模も同じ、片山前知事は公共施設の縮小を提言されている。収入にも目を向けるべきだ。	・人口減少による影響は認識しており、施設統合もコスト削減の選択肢の一つです。
3	事業費	質問	D	・コスト比較をしていないのは疑問。保育士の意見が反映されているか。	・これまでの議論により、移転を優先に進めた経緯があります。保育士の意見としては、ランチルーム、保育士用のスペースや円形の形状などの意見をいただきました。
4	財政	質問	G	・ため池は早めの排水指示を出せば豪雨に対応できる。財政的にはベストではないがベターであると思う。安全に避難するためヘリコプターは着陸できるのか。将来人口が減った場合には、ひまわり保育園を統合するというのがベターだと思う。保育園事業の後年に負担することが増えていくのか。	・小型のヘリコプターは着陸できます。今後突発的な事業を行うこともあります。財政コントロールいたします。
5	運営	質問	A	・指定管理ですでに民営化されている状況なのでこのままで良い。わざわざ民間に無償貸与をする必要はない。	・財政上のコントロールについて運営上の普通交付税や国、県、町の負担が明確になることといったメリットがあります。町の施設であるため、緊急時の避難場所や地域の皆さんとの交流の場など公共施設として運営は可能です。
6	運営	意見	D	・園の老朽化で困っていることについて子どもや周りのお母さんから不満を聞いたことはない。箱ものにお金をかけるのも大事だが、保育士さんの給料を考えてもらいたい。どんな保育士さんに保育をしてもらうかの方が重要だから。保育士の雇用の継続も考えてもらいたい。	・処遇改善や第三者委員会、事業の監査を入れて、公共施設や保育園として、きちんと町が責任を取ってほしいという気持ちをしっかりと頭に入れておきます。
7	運営	意見	F	・説明会で託児がないと保護者が参加しづらい。いい保育園は必要。伯耆の国以外にもいい保育をしているところはあるのに逆指名はおかしい。場所がつくし保育園の利用者は通にくい。規模が小さくても通いやすい、行き届いた園がいい。大雨など危険な場合には、通わせません。	・今後は託児のできる環境を用意できるよう配慮します。警報が出ている場合にはできるだけ自宅で安全な場所であるというのが真っ当なことだと思います。保育園と言いますのは、すべての子どもがいなくても安全の確保はしなければなりません。
8	方針	質問	C	・ひまわり保育園も老朽化しているが、今後の方向性は。	・子ども子育て会議で次の課題として検討していきます。
9	場所	質問	A	・つくし保育園の想定2mの浸水とはどの程度の雨量か。ため池ハザードマップで福里上池が決壊するのはどの程度の雨量の時か。また、統合保育所が孤立した場合の対策はどうか。	・正確な雨量は今申し上げられませんが、県東部地区であった1日500ミリを超えた場合にダムが越流をし、それにより法勝寺川のどこかが決壊することを想定したハザードマップによるものです。過去に賀祥ダムのところで48時間で520ミリの雨量想定で説明していますが、可能性として危険性があるところでの継続して建設するのは適切ではないと考えます。孤立した場合は、その保育園の中で安全を確保し、危険が去るまで待つということになります。
10	場所	質問	C	・つくし保育園が浸水危険度を問題化されたのはいつごろか。	・近年、国交省のハザードマップが公表され、確率雨量が上がりました。
11	場所	質問	D	・令和5年8月の寺内集落の説明会で文化財調査について触れられている件について説明してほしい。	・文化財のある隣接地であるため調査を行う必要があり、重要な遺構が出た場合には中止することもあると説明しました。その後の調査で重要なものは出てきませんでした。
12	場所	意見	E	・説明会などが遅く回数も少ないなどコミュニケーション不足である。つくしとさくらの保護者に説明がないまま話が進んだことはおかしい。保育園を建てる場合に大まかな計画から基本計画を立て、予算管理やスケジュール管理をすべきものができていない。プロジェクトの進める能力不足を指摘する。つくしとさくらの合併にも疑問だが、場所には納得できない。安心できる場所ではない。	・結果から言えば指摘の通りです。4年間の議論をしてきましたが、保護者の方に伝わらなかったのは私の至らなかつたところ。金額の問題については、たたき台として示したすみれこども園の7億円が歩いてしまったところは反省すべきと思っています。混乱を招く恐れがあると金額を明示してこなかった責任が大きいと思います。2園とも現状の場所で作り直すのは非常に難しいことは理解していただきたいと思います。
13	その他	意見	B	・質問内容の大半が「お金の話」になっていて、でも一番考えることは子どもが安全で保育士さんが働きやすい環境を作ることが一番じゃないかと思うので、現在の両園の環境のことも考えて話を進めてもらいたい。	・町内保育所の課題である老朽化を解消するためには、その場で建て替えるよりも、2園を1つにして人口にあわせて定員としながら一方で縮小をし、新しく保育園の建て替えをしていく考えを進めています。
14	その他	質問	E	・子どもたちは新しい環境でなじめるのか心配。また、保護者会の合併について考えを知りたい。	・保育士とともに年間行事を見直す予定です。今後の保護者説明会や保育士さんの説明会の中で方向性を示したいと考えます。